



若木

2018年5月1日 No. 2

町田市立町田第五小学校
校長 五十嵐 俊子



「まちごの子供たちの未来のために」

校長 五十嵐 俊子

★感性を磨いて感動できる人に

5月になりました。豊かな自然に恵まれた玉川学園地域は、木々の若葉がキラキラと輝き、学校の敷地内でもたくさんの小鳥が元気にさえずっています。毎日よく観察していると、小さな自然の変化を感じます。楽しみなことは、毎朝、校長室に、発見したことや感動したことを伝えに来てくれる子供たちがいることです。最近の話題はビオトープのオタマジャクシはどこに消えたのかです。あんなにたくさんいたのに、と悔やんでいます。好奇心旺盛な子供たちの話を聴きながら、子供はみんな科学者の卵だと感心しています。



校庭のサクラの木とウメの木に、実がなりました。

★持続可能な未来を創造する担い手に

保護者会でもお伝えしましたが、将来の予測が困難な時代に合わせた教育改革が始まりました。今まで行われてきた教育改革とは違い、社会構造の変化に対応した大きな改革です。「持続可能な未来の担い手」である子供たちに、「ICTを主体的に使いこなすだけでなく、他者と協働し、人間ならではの感性や創造力を発揮しつつ、災害等の困難を乗り越え、新しい価値観を創造していく力」を育てていきます。

本校では、どんな時も「よく見てよく聞いて考えて行動すること」を合言葉にしています。学校で学んだことが日常の生活の中で生かされ、地域社会に貢献できるように、子供たちを育てていきたいと思っています。先月は、この本校のビジョンを実現してくれた子供たちがいました。近隣の火災に気付いてすぐに大人を呼び、大人と一緒に消火活動を行った5年生7人です。消防署の方からの連絡で、7人の勇気ある行動を知りました。大変誇りに思います。さっそく全校朝会で知らせ、本校のWebサイト「校長室だより」でも紹介しました。(4/21)

★大人になっても学び成長する人に

これから始まる教育改革に向けて、私たち教師「チームまちご」も互いに学び続けています。子供たちの主体性の引き出し方、対話のある授業の実現、問題解決型の学習や探究学習の設計、プログラミング的思考の育て方等々、会議を削減して学ぶ時間を設けています。ちょっと大変ですが、たくさんの専門家がまちごを応援し、後押ししてくださっていることに感謝の気持ちをもって、楽しんで学び合おうと励まし合っています。私たち大人が好奇心をもって楽しく学ぶ姿が(苦手を克服している姿も)、そのまま子供たちの見本になればうれしいです。

★「笑顔のあふれる温かい環境」で挑戦する人に

子供たちがとことん探究したり、失敗を恐れずに挑戦したり、失敗を克服したりすることができるようにするためには、「安心して自分を超越する挑戦のできる温かい環境」が必要です。学校がそのような温かい場になっているかどうか、一人一人の子供たちにとって自分が受け入れられているという安心感をもっているかどうか、絶えず気にかけていきたいと思っています。小学校を卒業してから様々な厳しい現実に出会い、失敗や挫折をした時も、小学校時代の温かい思い出が、困難を乗り越える力になってもらえることを願っています。

★地域に貢献する人に

玉川学園地域は、本校の教育活動に力をくださっているすてきな地域です。多方面のプロフェッショナルな方々、安全を守ってくださっている方々がたくさんいらっしゃいます。「子ども110番」にも多くの協力をいただいています。とてもありがたいことです。地域に見守られて育ったまちごの子供たちには、周囲への感謝と思いやりの心が育っています。今年度も、地域のみなさま、保護者のみなさまと一緒に、地域に貢献する子供たちを育てていきたいと思っています。どうぞよろしく願いいたします。